

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ八戸ノ里Ⅱ	階数	地上12F
建設地	大阪府東大阪市下小阪五丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	165 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年5月19日
敷地面積	925 m <sup>2</sup>	作成者	高田 実
建築面積	380 m <sup>2</sup>	確認日	2021年5月19日
延床面積	3,339 m <sup>2</sup>	確認者	戸谷 晴彦

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100%  
②建築物の取組み 89%  
③上記+②以外の 89%  
④上記+ 89%

0 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>) 92

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	住居として長く快適に生活できるよう生活環境の安心・安全・耐久性に配慮した。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	住戸の開口部や界壁の遮音性に配慮した。 昼光率やグレア対策に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>Q2 サービス性能</b>	高度情報通信設備対応やバリアフリー計画を行うこと等により、機能性・使いやすさに配慮した。	
<b>LR1 エネルギー</b>	特になし	<b>LR3 敷地外環境</b> 躯体の耐用年数向上と設備システムの効率化によりLCCO <sub>2</sub> に配慮した。
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	有害物質を含む材料の使用を回避するよう配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0018

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)プレサンスロジエ八戸ノ里Ⅱ新築工事							
	建設地	大阪府東大阪市下小阪五丁目							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			<b>B+</b>					
①	CO2削減			<b>3</b>					
②	みどり・ヒート アイランド対策			<b>2</b>					
③	建物の断熱性			<b>4</b>					
④	エネルギー削減			<b>2</b>					
⑤	自然エネルギー直接利用			<b>○</b>					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

## エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.3	2
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		